MITSUBISHI ELECTRIC

1501873HE1903

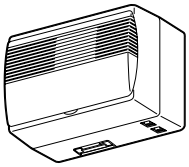
三菱パイプ用ファン

〔給気・循環ユニット・居室用〕

形名

V-08PQMX (-BE)
（脱臭フィルター搭載タイプ）

V-08PQMX-V (-BE)
（VOCフィルター搭載タイプ）



据付説明書

販売店・工事店様用

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。
据付け終了後は、必ずこの説明書とともにお客様にお渡しください。

据付けを始める前に、必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。

- **据付けは販売店様、または工事店様が実施してください。**
  間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- **お客様ご自身での据付けは、故障や事故の原因になります。**
- **この製品は常時運転の給気専用タイプです。**
- **本体にスイッチはついていますが、スイッチ操作が困難なところに据付ける場合は、壁スイッチ（システム部材のコントロールスイッチまたは市販品）の併用をおすすめします。**
  （強・弱切換タイプのコントロールスイッチは使用できません）

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

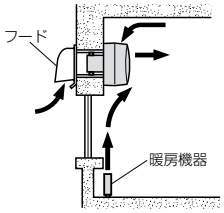
禁止	●**壁据付専用のため、天井には据付けない** 落下によるけがの原因。
分解禁止	●**改造や必要以上の分解はしない** 火災・感電・けがの原因。
浴室据付禁止	●**浴室など湿気の多いところには据付けない** 感電・漏電の原因。
指示に従う	●**交流 100 V を使用する** 直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。 ●**外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ** 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因。 ●**指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する** 接続に不備があると火災の原因。

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

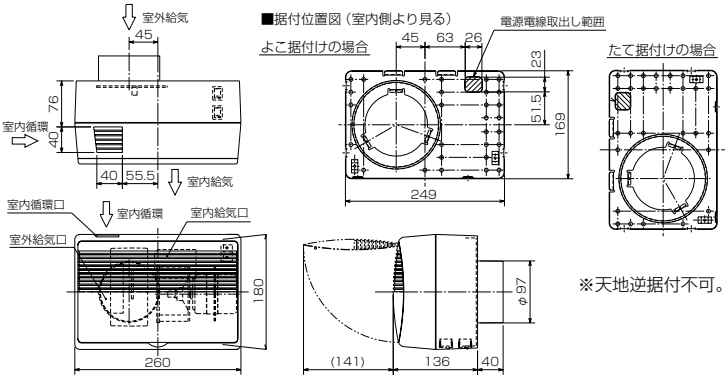
禁止	●**高温（40℃以上）になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所で使用しない** 火災の原因。
指示に従う	●**端子台カバーは据付後必ず取付ける** ほこり・湿気などにより漏電火災の原因。 ●**据付けの際は必ず手袋を着用する** 着用しないとけがの原因。 ●**本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によるけがの原因。 ●**パイプは室外に向かって下りこう配になるように据付ける** 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因。
指示に従う	●**ドレン排出は、据付説明書に従って確実に行う** 水漏れによる感電・火災や家財の破損の原因。 ●**専用システム部材（別売）の屋外フードを据付ける** 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因。 ●**電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う** 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。 ●**据付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

お願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けないでください。
  故障の原因
- 風雨が強く下側から吹き上げがある場合は、システム部材の耐外風高性能フードを据付けることをおすすめします。
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。
  振動の原因
- 燃焼排ガスなどを吸込むおそれのあるところには、設置しないでください。
- 下記環境下で使用しますと、本体から結露水が滴下することがあります。
  （屋外温度－10℃以下で室内温度 15～25℃・室内湿度 45%以上）
- スプレーをかけないでください。
  グリルが破損する原因
- 冬期の場合、より冷風感を軽減するために、下図のような設置をおすすめします。



外形寸法図

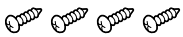


※天地逆据付不可。

付属部品

■同梱部品を確認してください

木ネジ……4 本



本体固定ネジ……2 本

クッション
黒色……1 本

運転保持シール
強運転用……1 枚
弱運転用……1 枚

据付けの前に

〈接続パイプ別準備〉

接続パイプは塩化ビニール管の薄肉（VU）管（内径 107 ㎜）、厚肉（VP）管・鋼板管（内径 100 ㎜）またはこれに相当する内径のパイプを用意してください。

お願い

- アルミフレキシブルダクトは堅固な据付けができないため使用できません。

VP 管・鋼板管の場合（内径 100 ㎜のもの）

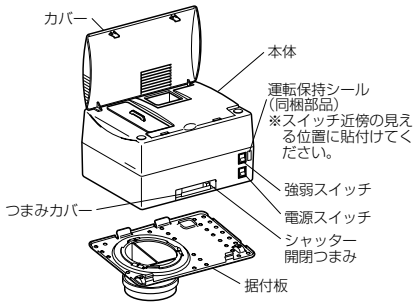
そのまま挿入する。

VU 管の場合（内径 107 ㎜のもの）

本体パイプ部クッション上に付属のクッション（黒色）をかさねて巻き付ける。

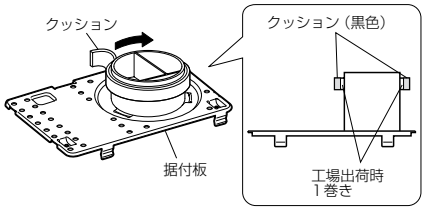
据付板をはずす

本体背面のテープをはがして、据付板をはずす。



お願い

- クッションの貼付けを確実に行わないと、パイプと本体のすき間から雨水等が浸入して壁を汚すことがあります。
- クッションは本体下部に合わせ目がこないように巻き付けてください。

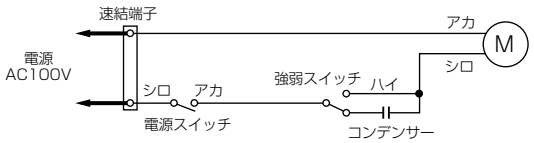


結線図

■**電気工事は、電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って安全・確実に行ってください。**

■**太線部分の結線をしてください。**
※太線部の結線はお客様にて結線してください。

100V 専用・誤結線注意

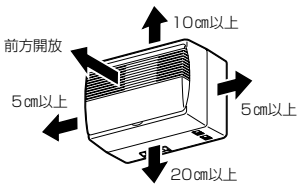


- 適用電線：VVF単線2芯φ1.6またはφ2.0

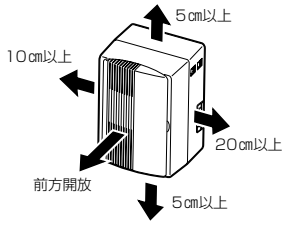
据付方法

●本体の周囲には下記の寸法以上の空間が必要です。

よこ据付けの場合

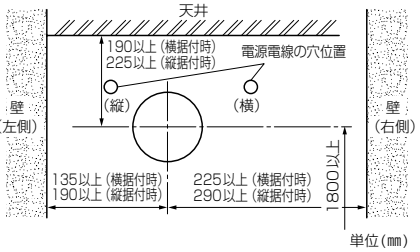


たて据付けの場合



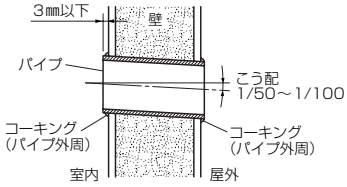
1. 壁穴工事

（1）据付位置を決めパイプの穴をあける。
- 必ず床面より 1800 ㎜以上のところに据付けてください
  なお、フィルター等のメンテナンスが必要ですので、メンテナンスができる高さに据付けてください。



（2）屋外に据付けるシステム部材（フードなど）のパイプ接続部と本体が当たらないようにパイプの長さを決める。
- パイプが室内側壁面からでる寸法は 3 ㎜以下としてください。

（3）壁穴にパイプを差し込みコーキングして確実に固定する。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音を発生する原因になります。
- 室外に向かって下りこう配をつけ固定してください。



⚠注意

- **パイプは室外に向かって下りこう配になるように取付ける。**
  （雨水浸入による感電火災や家財を濡らす原因）

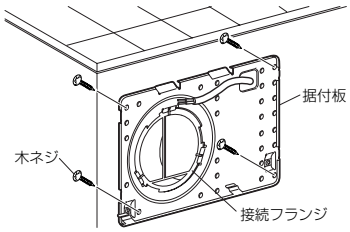
2. 電源電線の引き出し

- 外形寸法図を参照し、電源電線を室内側へ引き出す。
  電源電線は VVF 単線 2 芯φ 1.6、φ 2.0 をご使用ください。

3. 据付板の取付け

据付板を固定する

据付板の水平を確認し、補強材のある位置に木ネジ 4 本（同梱）で据付板を固定する。



お願い
- 木ネジはできるだけ 4 すみの均等な位置で固定してください。
- 据付板は水平（1°以内）に取付けてください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。（市販品）

4. 電気工事

⚠警告

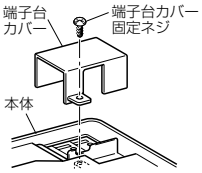
- **交流 100V を使用する**
  （直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因）
- **指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する**
  （接続に不備があると火災の原因）

⚠注意

- **電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う**
  （接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因）

1. 端子台カバーをはずす

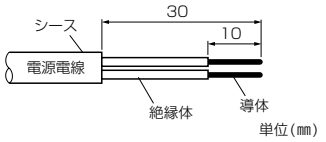
（1）端子台カバー固定ネジをゆるめて、端子台カバーをはずす。



2. 結線をする

（1）結線図のとおりに結線をする。
電源電線を右図の寸法にて皮むきし速結端子に差込む。

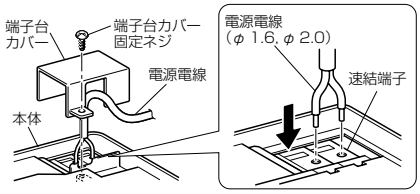
（2）端子台から電線が抜けないことを確認する。



3. 端子台カバーを取付ける

（1）端子台カバーを取付ける。

（2）端子台カバー固定ネジで端子台カバーを固定する。
- 端子台カバー側壁にて電源電線をはさまない様、端子台カバーを取付けてください。

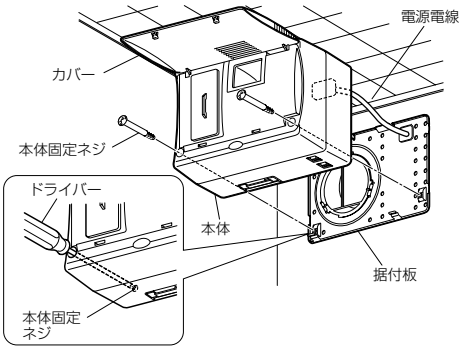


5. 本体の据付け

本体の固定

（1）据付板（2 か所）に本体を引掛け、はめ込む。

（2）本体を壁側に押しつけて、カバーを開け本体固定ネジ 2 本で固定する。



据付け後の確認

■据付け終了後、試運転の前にチェック表（下記）にしたがって点検します。

■不具合があった場合は必ず直してください。
（機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません）

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
据付け	本体の据付け強度は十分ですか？	補強する	
	本体が確実に据付けられていますか？	本体固定ネジを締め直す	
	コーキングはしましたか？	コーキングをします（コーキングをしないと雨水が浸入します）	
試運転	電圧は 100V ですか？	100V に直します（異電圧を印加すると破損します）	

試運転

■できるかぎりお客様立合いで、試運転を行ってください。

1. 電源を入れる
   1. 分電盤ブレーカーを入れる。
   2. 電源スイッチを入れる。
2. 異常な振動・騒音がないか確認し、確認後停止する
   - 本体スイッチおよび分電盤ブレーカーを切る。
   - つまみカバーを開き、シャッターを閉じる。
3. お客様に強あるいは弱運転を保持していただくために同梱の運転保持シールをスイッチ近傍の見える位置に貼付けてください。

お客様への説明
- 分電盤ブレーカーの位置をお客様へ説明してください。
- チェック表の結果をお客様へお知らせください。
- この「据付説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客様にお渡しください。
- お客様が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理人へ説明してください。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町 1 番 3 号

この説明書は、再生紙を使用しています。